

**ランニングコスト削減・省エネ・省スペースで貢献する  
冷凍トラップ「SCトラップ（仮称）」を開発  
2014年発売予定**

キヤノンアネルバ株式会社（社長：酒井純朗、本社：神奈川県川崎市麻生区栗木 2-5-1、以下：キヤノンアネルバ）は、ランニングコスト削減および省エネ・省スペースを目的とした新コンセプト採用の冷凍トラップ「SCトラップ（仮称）」を開発、2014年発売を予定しています。



スターリング式冷凍トラップ SCトラップ(仮称)

**■従来の冷凍トラップの問題点**

ターボ分子ポンプを搭載した真空薄膜作成装置などでは、生産性向上を目的に、真空到達圧力改善や真空排気時間短縮に、ヘリウムガス冷凍システムを使用した冷凍トラップシステム（クライオトラップまたはウォータポンプともいう）が使用されます。

従来の冷凍トラップシステムでは、ヘリウムガスコンプレッサーユニットが別置きとなっており、機器設置スペースが大きく、接続するヘリウムガス配管が、引き回しのスペースや設置・接続の手間を要しています。また、システムとして定期メンテナンスが必要などの問題があります。

**■新コンセプトの冷凍トラップ「SCトラップ（仮称）」**

キヤノンアネルバでは、従来の冷凍トラップシステムのもつ問題点を解決する、新しいコンセプトの冷凍トラップシステム「SCトラップ（仮称）」を開発、2014年発売を予定しています。

この「SCトラップ（仮称）」の主な特長は以下の通りです。

- ・新開発高性能スターリング冷凍機の採用により、別置コンプレッサーユニットとヘリウムガス配管を排除し、圧倒的な省スペースと省エネルギーを実現
  - ・水分に対する高い排気速度と、高コンダクタンスを両立し、ターボ分子ポンプと併用することで排気性能向上を実現
  - ・冷凍機はメンテナンスフリーで、ランニングコスト削減にも貢献
  - ・振動を極力抑えることにより従来同等品では難しい真空薄膜作成装置対応が可能
- これにより、お客様の生産性向上に貢献できる製品となっています。

**■「SCトラップ（仮称）」を VACUUM2013－真空展 で実機展示**

2014年の発売に先んじて、11月6日-8日東京ビッグサイトで開催される VACUUM2013－真空展でプロトタイプモデルを実機展示します。

是非当社展示ブースにご来場ください。

## ＜キャノンアネルバについて＞

キャノンアネルバはキャノン株式会社の100%子会社であり、真空技術を基幹技術とした真空薄膜形成装置や真空部品の開発・製造・販売を行なっています。真空薄膜形成装置の中でもスパッタリング方式の装置を多くラインナップし、ハードディスクの磁気ヘッドおよび磁気ディスク製造用スパッタリング装置では世界トップシェアを有し、関連技術において「内閣総理大臣賞(産学官連携功労者表彰)」「井上春成賞」「市村産業賞・貢献賞」などの受賞歴があります。また、最近ではスマートデバイス市場向けの各種高性能デバイス製造ラインに多数の製造装置を提供し、スマートデバイスの普及・モバイルシーンの拡大に寄与しています。2012年度売上高は371億円。

真空展には毎年継続して出展しており、真空コンポーネント製品中心の展示を行なっています。この度、キャノンアネルバの真空コンポーネント販売部門は、同フィールドサービス部門と統合いたしました(2013年8月19日付)。サービス部門と一体となることでお客様とより深いリレーションを築きながら、様々なお声を頂戴し、販売、サービス、そして製品の質の向上に努めてまいります。